

水の作文コンクール

水について考えよう



皆さんは、「身近なもの」に何を思い浮かべるでしょうか？ 家族、学校、先生？

人それぞれ思い浮かべるものは違うと思います。しかし、全ての人々にとって、本当に身近でなくてはならないもの、それが「水」です。

水は、海から蒸発し、雨となって地上に降り、川を流れ、地下にしみこみ、また蒸発して永遠の循環を繰り返しています。その中で私たちは、飲み水、トイレ、料理、農地に工場、プールやレジャーと、本当に様々な場面で水の恩恵を受けています。時には、水害が起きたり、水不足になって困ることもあります。それらを未然に防ぐための施設や、安心して飲める水を送り届けるための施設で働く多くの人もいます。

しかし実際、皆さんは水について何を知っていますでしょうか？ あまりに身近にあるものは、実は知らないことがたくさんあるものです。

この機会に、皆さんが暮らしの中で体験している水にまつわる話や、祖父母、両親、先生から学び聞いた話、自分で調べたことなどをとくに、水についての考えや今後の水の使い方についてまとめてみましょう！

表彰(予定)

- 内閣総理大臣賞(最優秀賞)1名
- 厚生労働大臣賞(優秀賞)1名
- 農林水産大臣賞(優秀賞)1名
- 経済産業大臣賞(優秀賞)1名
- 国土交通大臣賞(優秀賞)1名
- 環境大臣賞(優秀賞)1名
- 水の週間実行委員会会長賞(優秀賞)1名
- (独)水資源機構理事長賞(優秀賞)1名
- 全日本中学校長会会長賞(優秀賞)1名
- 全日本中学生水の作文コンクール
中央審査会特別賞(優秀賞)(必要に応じて)1名
- 入選 約30名
- 佳作 約100名

最優秀賞及び優秀賞の受賞者を8月上旬に国土交通省に招待し、賞状等を授与します。

メインテーマ

水について考える (個別の題名は自由)

原稿(記載要領)

- ①400字詰原稿用紙4枚以内、日本語で記入された個人作品
- ②本文の前(原稿用紙枠内)に題名、学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)を明記

応募締切日

〔国内〕各都道府県の水資源担当部局にお問い合わせ下さい
〔海外〕平成29年5月12日(金)

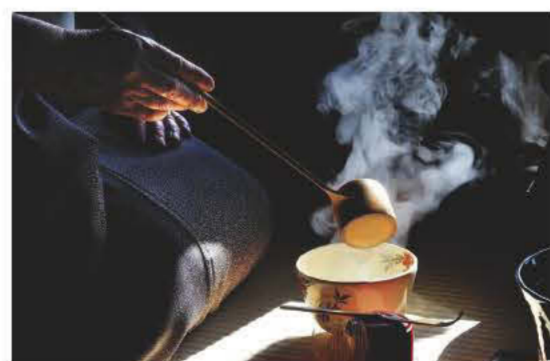
入賞発表

平成29年7月中旬

【主催】水循環政策本部、国土交通省、都道府県 【後援】文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、水の週間実行委員会、独立行政法人水資源機構、全日本中学校長会

提出先(問い合わせ先)

国内 各都道府県の水資源担当部局 海外 国土交通省水管理・国土保全局水資源部水資源政策課 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2丁目1番地3号 ☎03-5253-8386(直通)



写真：第31回水とのふれあいフォトコンテスト(平成28年度)入賞作品

8月1日は「水の日」、8月1日～7日は「水の週間」です。

水の日

検索

※詳しくは、「水の日」「水の週間」についての国土交通省ホームページ(<http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/index.html>)をご覧ください。